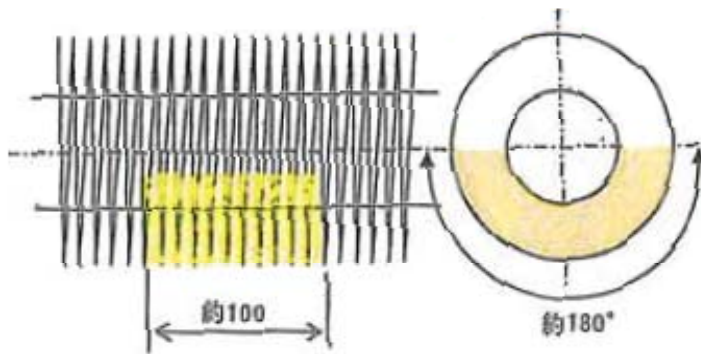


過熱器管のスパイラルフィンを研削中 グライnderの刃が当たり減肉させた

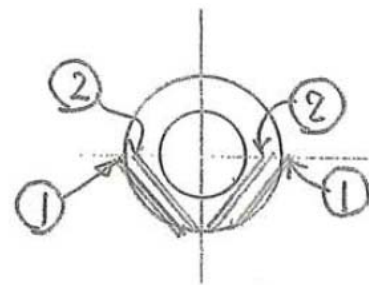
【発生状況】

過熱器管の内面スケール測定のため、測定部のフィン(スパイラルフィン)の研削をしていたところ、グラインダーの刃がボイラーチューブに当たり減肉した。
※最初は厚刃で研削していたが、SUS製のフィンが削り込んでみくれてきて管が見えづらくなるため、薄刃でフィンを切り込む方法に変更していたところ、研削部を仕上げている際に減肉に気付いた。

【フィン研削範囲】



【フィン研削要領】



過熱器管 : $\phi 38.1 \times 5.1t$ / STBA24
Tsr 4.39t に対して 減肉部は 3.7t だった
フィン : SUS410 (1.0t)

【原因・問題点】

- ① 監督者へ報告をせずに作業方法を変更した。

【対策】

- ① 決められた作業方法・作業手順を守る。変更する場合は、監督者へ連絡し、許可を得た後に着手すること)